

2013年

5月号



# 青雲会会報

平成25年5月31日

編集・発行

青雲会(大阪大学法学部同窓会)  
会長 野村 史郎

事務局

〒560-0043 豊中市待兼山町1-6  
大阪大学大学院法学研究科内  
TEL&FAX.06-6850-5198  
E-mail ishibashi@seiunkai.net  
<http://www.seiunkai.net/>

印刷 株式会社 絆コーポレーション

## 2014 Anniversary Year

大阪大学法学部 **創立60周年**  
同高等司法研究科 **創立10周年**  
同法学部同窓会青雲会 **創立60周年**

### 記念事業 ご寄附のお願い

皆様には各方面で、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度末、法学部創立60周年、高等司法研究科創立10周年、そして青雲会創立60周年を迎えることとなりました。

近年、大阪大学は教育研究とともに社会との連携を重要な課題として活動しておりますが、さまざまな社会のステークホルダー(保護者、企業、地方公共団体等々)の信頼と支援を得ることが大阪大学のさらなる発展にとって不可欠になって来ております。とくに、社会の評価に耐えうる卒業生を輩出することは、以前にも増して強く求められているところです。しかし、学生たちが自らの「将来(キャリア)」をどのようにデザインしていくのか、いわゆる「キャリアデザイン」を大学がどのように支援していけばいいのかは、大阪大学にとって喫緊の課題ではあります。未開拓の分野でもあります。

それぞれの組織の節目となる年を迎えるにあたり、「キャリアデザイン」分野の支援を軸とした大学と青雲会の新たな連携の創造に向けて、2つの記念事業基金を設置することを考えました。

第1は、「青雲キャリア支援基金」です。これにより、法学部・法学研究科・高等司法研究科と青雲会の緊密な連携のもとにキャリア支援策を継続的に実施していくことを考えています。

第2は、「法経講義棟施設整備基金」です。今年度の秋から法経講義棟の耐震補強工事が行われることが決まり、同講義棟が生まれ変わります。これを機会に新講義棟にふさわしい最新の教育設備を設置し、今回の記念事業を私たちの記憶に止めるものにと考えています。

つきましては、上記目的を実現するために、記念事業寄附金を別紙要領により皆様方から広く募ることいたしました。厳しい経済状況が続く折柄ではありますが、何卒この趣旨にご賛同いただき、積極的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月吉日

法学部長・法学研究科長 竹中 浩  
高等司法研究科長 谷口 勢津夫  
青雲会会長 野村 史郎



## ■ 青雲会会長 ご挨拶



会長 野村 史郎  
(27期 和田哲株式会社  
代表取締役社長)

三木秀夫前会長から青雲会会長を引き継ぎました27期の野村史郎です。錚々たる諸先輩がいらっしゃる中で会長職をお引き受けすることには躊躇しましたが幹事会のご推挙と三木前会長、森信前々会長はじめ皆様の激励を頂き微力ながら務めさせて頂きます。

私は1979年に卒業し、三井銀行(現三井住友銀行)に就職しました。サラリーマンを12年間勤めた後に1991年より配偶者の実家の家業である大阪船場の和田哲株式会社に入社し、2000年より社長をしております。大企業や法曹界で活躍されている会員が多い青雲会の中では少し変わり種かもしれません。

私は同窓会のお手伝いする時に「同窓会の役割ってなんなのだろう?」と考えました。そして、同窓会には3つの役割、機能があるのではないかと思います。一つは「旧交を温める。」すなわち、卒業後いろいろな人生を歩む中でたまに会って、旧交を温め、励まし合うと言うことです。二つめは「同窓の絆と相互扶助」です。これは同窓生と言う繋がりで社会生活をおくる中で出来る限り助け合うということです。三つめは「社会貢

献」です。それは大阪大学教育を通しての社会貢献です。

今までも文系他学部同窓会との交流、連携を深めたり、名簿還元などによる各期の同期会開催へのサポートなどを行って来ました。名簿に関しては大学の協力を頂き、入学年度同期の名簿還元も簡単に出来るようになりますので、同期会開催案内については事務局にご相談ください。

さて、今年度末大阪大学法学部、青雲会は60周年、高等司法研究科は10周年を迎えます。青雲会としては60周年を記念して大学が検討している二つの基金の立ち上げに寄付をもって協力したいと考えております。一つは我々の多くがお世話になった法経講義棟の耐震補強工事に伴う設備機器の整備基金です。もう一つは青雲キャリア支援基金です。これは①学生一人一人が10年後の自己をdesignし、②卒業10年後には自己をre-designできるようにサポートすると言うものです。即ち、在学中のキャリア支援教育の充実と卒業生が還って来ることが出来る「場」の提供です。そして③学生一人一人を支えるために研究科と同窓会と保護者とが連携し情報共有するシステムを確立する、と言うものです。我々の時代と比べると今の学生は進路が多岐に渡ります。そのため進路選択に当たって、大学、同窓会、保護者が連携してサポートする仕組みを作ることです。これが実現すれば大阪大学法学部で学ぶ学生諸君がより充実した人生を歩み、より社会に貢献出来る人材になると確信致します。

青雲会会員諸氏のご理解とご協力を是非お願い申し上げます。

## ■ 青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長  
大阪大学法学部長

竹中 浩

日頃は法学部・法学研究科の教育研究に対して御理解と御支援をたまわり、厚くお礼申し上げます。

平成25年は法学部が法経学部から独立した1953(昭和28)年から数えて60年という節目の年にあたります。新制大学院としての法学研究科も同じ年に発足しましたから、やはり平成25年に還暦を迎えます。60年の間、法学部・法学研究科は、ほぼ時を同じくして誕生した法学部同窓会(青雲会)と、手を携えて歩んできたわけです。また、この年度末には、高等司法研究科も発足10周年、大阪大学も法人化後10周年を迎えます。まさに記念すべき節目の年です。

これを祝うかのように、このたび予算が付き、築40年を経過した法経講義棟が耐震改修工事に入ることになりました。2番教室・3番教室のある建物で、多くの卒業生のみなさまには思い出の多い場所だと思えます。建築後長い年月を経ているため、以前から補強工事の必要が指摘されていましたが、25年秋、やっと着工の運びとなりました。これを機に、内部も改装し、学生が授業に集中することのできる、またさまざまな行事の

ための使用に適した教室にしたいと考えています。

大学の置かれた状況が厳しさを増すなか、少しずつでも教育環境を改善していきたいと思えます。お力添えのほど、どうかよろしくお願い申し上げます。



## ■ 「未来共生社会」の実現に向けて



国際公共政策学科長  
星野 俊也

法学部創設60周年を迎え、学部の新しい伝統の一つとなった国際公共政策学科の学科長としては、法学部のさらなる発展のため、また、法学部を通じ大阪大学全体の発展のため、斬新な取り組みをしていきたいと考えているところです。そうした努力の一環ですが、今般、文部科学省による「博士課程リーディングプログラム」に私が全学のプログラム代表となって応募した「未来共生イノベーター博士課程プログラム」が採択され、4月から本格始動しました。多様で異なる背景や属性を有する人々が互いを高め合い、未来に向けた共生モデルを創案・実施できる知識・技能・態度・行動力を備えた実践家・研究者を育てる事業。5年一貫で、専門の学位とともに多文化コンピテンシーを修得するコースです。早速、法学部出身の学生が、学内の厳しい選抜を経て、国際公共政策研究科の修士1年として本プログラム第1期生になったことはとても誇らしく思っています。「未来共生」プログラムは、「海外」という舞台上でグローバルに活躍できる人々だけではなく、「内なるグローバル化」によってますます多様化する日本社会においてもリーダーシップを発揮できる人材を育成したいと願っています。法学や公共政策学は、そうした人材にとっての重要な学問的基礎となるものです。「未来共生社会」の実現に向けて多くの法学部出身学生が活躍してくれることを期待しています。

## ■ 高等司法研究科創設10周年



高等司法研究科長  
谷口 勢津夫

高等司法研究科は平成25年度末をもって創設10周年を迎えます。高等司法研究科は設置認可の保留を経ての設置という大変厳しい状況下での船出でしたが、構成員全員が非常に大きな危機感をもって一丸となって教育・運営の改革改善に不断の努力を重ね、法科大学院をめぐる状況がその後厳しさを増す中でも、荒波に翻弄されず、「次世代を担う、真の Legal Professionals の育成」という目標に向かって邁進し続けてきました。その成果として、司法試験の合格実績が向上してきた(平成24年司法試験では合格者74名という過去最高の結果を残しました)だけにとどまらず、667名の修了生を輩出しその多くが法曹界や企業・官庁などで活躍し高い評価を受けるようになってきています。

高等司法研究科は、これまでの経験や実績を踏まえ、前記の目標に向かって更なる発展を期して、創設10周年に向けて、臨床法実務教育の拠点(「智適塾」)の設置(知的財産センターとの共同事業)、学生のキャリア形成教育の充実及び修了生の継続教育・再教育、修了生同窓会の設立、等の事業に積極的に取り組んでまいります。高等司法研究科の修了生には青雲会の正会員又は特別会員も多数おりますが、修了生同窓会の設立を機に、青雲会との関係を更に緊密なものにしてまいりたいと考えております。何卒よろしくお願いたします。

### 大阪大学法曹会よりのお知らせ

#### 1. 平成24年度総会のご報告。

平成24年10月22日 例年通り大阪弁護士会館にて、開催いたしました。

阪大法曹会も新組織となって満4年が経過し、行事・会計とも概ね軌道に乗り、現在推進いたしております主な行事は次の通りです。

1. 後援基金に対する資金援助
2. 合格祝賀会の開催
3. 就活懇談会の開催
4. 大学との定期的懇談会の開催
5. 後援基金 事務管理

#### 2. 合格祝賀会のご報告。

総会と同日、本年度司法試験合格者の合格祝賀会を開催いたしました。本年度は成績が大変良好で合格者101名となり阪大高等司法研究科を卒業された方の合格率は全国6位の成績となりました。

祝賀会は合格者70名、迎える会員60名、合計130名のご出席者となり盛大なる祝賀会となりました。

今回は、はるばる北海道より稲葉一生様もご参加いただき、かくし芸の小品などもご披露いただきました。

ご出席いただけなかった会員の方も、来年はぜひご参加ください。

#### 3. 名簿を発刊致しました。

平成24年9月、初めて会員名簿を発行することができました。データ不足のため不都合な面もあるかと存じますが今後は、もっと充実した名簿にしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。発行後、いろいろ情報をいただいておりますが更に会員の皆様、お気づきの点がございましたら、どんどん事務局のほうにご連絡ください。

#### 4. 新役員は下記の通りとなりました。

今回は全員留任となりましたので下記の方に2年間お願いたします。

役員	会長	的場 悠紀	(12期)
	副会長	野村 務	(27期)
	副会長	中川 清孝	(24期)
	事務局長	福田 健次	(36期)
	監査	三木 秀夫	(36期)
	監査	三成 賢次	(大学)

※この期は司法修習期です。

事務局	堂島法律事務所	06-6201-0444
	事務局分室	06-6850-5198(青雲会内)

## ■ 平成24年度総会報告



日 時：平成24年7月14日(土) 午前10:30開会  
 10:30-12:10 総会・講演  
 12:15-14:10 懇親パーティー

会 場：大阪弥生会館

講 師：外務省顧問、(株)野村総合研究所顧問、  
 立命館大学教授、  
 大阪大学大学院国際公共政策研究科特任教授

やぶなか みとじ  
**藪中 三十二氏** (18期)

講演テーマ：「国際社会と日本」

平成24年度の総会は約100名の会員の皆様にご出席いただき、盛会のうち総会を終えることが出来ました。

講演では、藪中三十二氏(18期)から「国際社会と日本」と題して、G7体制が終焉して世界のガバナンス・モデルが行き詰まる中で、中国問題を中心にアジアにおける日本外交の進む方向について、今話題の東シナ海、尖閣を巡る動きも含め外交官のご経験に裏打ちされた非常に示唆に富むお話をいただき、聴衆一同深い感銘を受けました。

懇親パーティーは恒例により三輪幹事長の乾杯で始まり、川島名誉教授のご挨拶で、藪中講師のゼミ教官としてのお話をいただき、東京支部長杉政氏及び名古屋支部長平野氏からそれぞれ支部の活動報告が行われました。

続いて、青雲会懸賞論文受賞者紹介、留学生奨学金授与者紹介が行われ、中尾前名誉会長からご挨拶を頂き、また震災ボランティア活動報告も行われ、盛会のうちに山本副会長による中締めとなり、大阪締めを指導・披露してお開きとなりました。

## ■ 卒業修了祝賀会

3月25日、卒業式があり、法学部法学科より176名、国際公共政策学科より82名(法学部258名)、法学研究科より39名の合計297名が卒業されました。

卒業修了祝賀会は、竹中法学部長の祝辞と星野国際公共政策学科長の乾杯で懇談に入りました。

その後青雲会懸賞論文の入賞者表彰を行いました。三木会長から1席の當舎氏外3名(公4)を始め2席1名、佳作2名、新人賞1名の合計5組が表彰され、卒業生の皆さんから祝福を受けられました。

この会は、青雲会が主催ですが、当日の運営は法律相談部・法学研究会に所属する学生が行い、今年もビンゴゲームで盛りあがりました。

当日の飲み物(ビール)はサントリーグループの(株)ダイナックさんにご寄贈いただきました。お礼申し上げます。

当日の参加者は先生方を含め213名の沢山の参加となり、記念写真の撮影が3つに分かれることになりました。





## ■ 平成24年度青雲会行事報告

平成24年度の青雲会行事の概要は下記のとおりです。

### 1. 総会

平成24年7月14日(土)大阪弥生会館にて開催いたしました。詳細については、4ページの総会報告をご参照ください。

### 2. 留学生への奨学金付与

今年度は、宋 雨璽さん(中国市出身)に決定いたしました。なお、宋さんについては、9ページの座談会をご覧ください。

### 3. 懸賞論文

今年度は26名から応募があり、以下のとおり決定しました。各受賞論文は青雲会HPに掲載しておりますので、ご覧ください。

**1席** 公4 當舎 夕希子 君外3名

「飲酒運転に関する法改正とその効果」

**2席** 法4 中村 公大 君

「社会学的代表と投票価値の平等との関係-「代表」は平等に対抗するの-」

**佳作** 法3 渡辺 裕介 君

「診療契約と「関係」-がんの告知事例をもとに-」

**佳作** 公3 中平 麻友 君外3名

「生活保護受給者の稼働率向上のために」

**新人賞** 公1 中尾 元紀 君

「拷問等禁止規範の慣習国際法性に関する考察」

### 4. 幹事会

4月13日、6月27日、9月5日、12月4日、2月20日に開催しました。毎回30名前後の幹事が出席し、青雲会の運営方針等について討議しています。

### 5. 法経OB・OG交流会

今年度から青雲会は経済学部同窓会と共に学生の就職支援を図るために経済学部同窓会学生部会主催のOB・OG交流会に協賛しました。詳細については、下の報告をご覧ください。

### 6. 卒業修了祝賀会

今年度も準会員であった学生を正会員として迎える青雲会主催の記念パーティーを、3月25日に開催しました。詳細については、4ページの報告をご覧ください。

以上

## 平成24年度法経OB・OG交流会

10月27日(土)午後2時から6時 豊中キャンパス 豊中総合学館において経済学部同窓会学生部会(ECOCA)主催で法経OB・OG交流会が開催されました。

今年から青雲会は経済学部同窓会と共に学生の就職支援を図るため同交流会に協賛しました。

当日参加頂いた卒業生は法学部 16名 経済学部 17名 計33名です。

学生は 法学部 23名 経済学部 37名 計60名です。

学生部会ECOCAの高本会長の開会宣言の後、経済学部と法学部の各卒業生の紹介があり、経済学部同窓会の安竹事務局長及び青雲会の松本副会長からそれぞれ挨拶を頂きました。

予め決められた卒業生を囲む小グループでの15分の座談会を4回実施し、その後フリーの15分の座談会を2回実施しました。

各座談会で学生は各分野の卒業生に熱心に質問し、卒業生との会話が弾んで時間の経つのを忘れる位でした。

その後青雲会23期神戸クルーザーの南部様の乾杯により懇親会がはじまり、卒業生と学生が親しく歓談してお互いの絆の確認・拡大に努めていきました。



# 同 期 会 開 催 報 告

## 昭和29年入学同期会

2月21日(木)、東京や岡山など遠方からもあわせて21名が参加し大いに盛り上がりました。

来年も2月の第3木曜日2月20日関西文化サロンでの開催を約し無事散会いたしました。



## 11期同期会

平成24年度新制11期の同期会は5月10日～11日の一泊二日の行程で淡路島の阿那賀で行いました。参加者は34名。10日に神戸・JR三宮駅で12:45集合、東京勢と合流し、鳴門海峡の「うずしお」と大鳴門橋を船上で観る為、2台のバスで一路、福良港へ。

観潮後は「ホテルアナガ」に4時過ぎに到着。5時30分から懇親会を開始しましたが、その前に、4時45分から約30分、山内啓巳さんの落語がありました。(学生時代からの趣味の落語を定年退職後、いろいろな寄席、施設などで年間10数回行っています。)懇親会は大変な盛り上がりを見せ、同じ敷地内で会場を変えて3次会にまで及びました。翌日は大塚国際美術館で世界の名作に感動し、午後3時半頃に神戸・三宮で解散しました。

今回は来年5月18日(土)～19日(日)に「卒業50周年記念同期会」を開催します。記念すべき年でもあり、懐かしい待兼山の阪大キャンパス巡りを計画しています。



## 18期同期会「藪中さんを囲む会」

昨年7月14日の青雲会総会講師を務められた藪中さんをお招きして、当日の午後4時から「燦大丸梅田店」で囲む会を11名の参加を得て開催しました。

藪中さんは午前の講演会のお疲れも見せず、学生当時の思い出話を懐かしくメンバーと打ち解けて語り合いました。



## 阪大法19期、経済19期合同ミニ同窓会

さる4月26日の夕刻、渋谷の和風小料理店で、法・経計8名が合同ミニ同窓会を行ないました。そもそものきっかけは、昨年11月の青雲会東京支部総会で、講演を行なった神志名氏と久しぶりに話をする事が出来、昨年急死をした小池氏(法19期)を悼むためにも、是非一度集まろうと意気が上がり、旧友に呼びかけ、開催することができました。特に、今回は大阪から遠路はるばる駆けつけた河上氏は、皆と40年ぶりの再会となりました。また、来年1月に開催を約して楽しい集いをお開きにしました。





## 昭和47年入学同期会

去る12月22日(土)午後5時より、大阪ヒルトンホテル地下2階の「たちばな」で昭和47年入学同期会(新制24期から27期)を行いました。

出席者は梅原、遠沢、小田、奥野、片岡、酒井(若泉)、舟引、細井、前田、宮崎(直彦)、室木、脇谷の在阪メンバーに東京から駆けつけた安田、鈴木(浩)の2名を加えて14名が集まりました。

卒業後初めて再会したメンバーもいて、近況を語り合いながら、2次会3次会と大いに盛り上がりました。

来年は全員が還暦を迎えるのを記念して60名規模の同期会をやることを決めました。幹事は1組片岡、2組鈴木(浩)、3組細井の各氏がやることになり、同期のメールアドレスなどの情報を幹事に連絡することになりました。

尚、時間と場所は2013年12月21日(土)13時から「たちばな」です。



## 昭和50年入学同期会

昨年8月25日～26日に坂の上の雲で有名な愛媛県は松山市で同期会を開催しました。

前年10月に大学で久々に同期が集まり、二次会で盛り上がり、「次は温泉に入りながらの同期会もええなあ。」という話から今回の企画になった次第です。泊まりの企画だったので何人くらい参加してもらえるか不安でしたが、23名の同期の参加を得ました。

愛媛県庁勤務の三好さんに現地幹事としていろいろ段取りをして頂き、松山城、坂の上の雲ミュージアム、坊ちゃん列車など旅行会社もびっくりの観光スケジュールを組んで頂きました。



もちろん宿泊は道後温泉。

翌日も残暑の厳しい中でしたが、四国八十八ヶ所の五十一番札所の石手寺をはじめ、子規記念館など前日の宴会で飲んだビールが皆汗となって流れ出るほど歩き、しゃべり、締めには歴史的建造物である愛媛県庁の見学をさせて頂き解散となりました。参加したメンバーからはまた会いましょうと言う挨拶でお開きとなりました。



### 同期会の開催報告

青雲会は皆様方の同期会の開催を支援しています。

- ・ 入学同期の会員情報の基礎データを提供いたします。
- ・ 同期会幹事の方は事務局にご一報ください。
- ・ 同期会の開催案内と開催結果報告をHPに掲載します。
- ・ 新判明会員情報を事務局にご連絡願います。

## 青雲会会員名簿の発行は来年に延期しました。

青雲会会員名簿は前回平成21年11月に発行しており、4年後の今年11月に発行する予定でしたが、今年は青雲会創立60周年事業と重なりましたため来年11月に発行いたします。

インターネット上でご自分の住所・勤務先等の確認・変更ができます。青雲会ホームページのトップページから皆様にお知らせしている個人IDとパスワードで会員専用サイトにログインしてください。

現在、転居等で連絡のとれない同窓生の方がおられます。現住所未確認者一覧をご覧ください。ご存知の方がおられましたら是非情報を事務局にお知らせ下さい。

## 東京支部だより

東京支部長 杉政 静夫(21期)



### 東京支部 連絡先

〒160-0004  
東京都新宿区四谷1-9 天龍ビル5F  
杉政静夫法律事務所内  
TEL 03-3355-6575 FAX 03-3355-6576

過去1年間の活動報告をしたいと思います。経済学部同窓会(待兼会)東京支部との合同講演会を始めて6年経ちました。春(6/2)は待兼会が中心で講師は阪大工学部卒業で東芝勤務の坂下嘉章氏。演題は「原子力について」、原子力発電の現状について詳しく解説していただきました。(場所は学士会館。)秋(11/24)は総会と同時開催となるので、当方が主催で講師はNHK解説主幹の神志名泰裕氏(法学部19期)にお願いしました。演題は「混迷政治と衆議院選の行くえ」です。選挙の勝敗予測から選挙後の政権の枠組みと政治状況まで話は及びました。選挙直前となりタイムリーな開催で参加者も100名を超えました。(場所は日本教育会館。)

この二大イベントの準備のために、幹事会を5月、7月、11月、2月と4回行いました。このイベントの成功は幹事の皆様の献身的な努力のお陰です。有難うございます。

その他では年2回の青雲会ゴルフコンペ(場所はデイスターとアスレチックGC)、年2回の待兼会との合同コンペ(場所は昭和の森GC)を実施しています。直近では工学部同窓会もジョインされました。

これからも同窓会活動を東京支部から盛り上げて行きたいと思っています。

## 名古屋支部だより

名古屋支部長 平野 修義(10期)



### 名古屋支部 連絡先

〒464-0072  
名古屋市千種区振甫町3-26  
平野 修義  
TEL&FAX 052-711-1008

### 24年名古屋待兼会活動状況

当年も経済学部同窓会と協力して「名古屋待兼会」を運営いたしました。2,4,6,9月の例会ではそれぞれ「続・海外を楽しむ」「タイに赴任して」「グローバルリゼーション」「台湾いいとこ」のテーマで同窓生の30分ショートスピーチがありました。振り返ると最近の世情を反映し、海外関係に集中したようです。

毎回スピーチの後は約2時間酒食、懇談、雑談を楽しんでおります。

11月17日の総会には、経済学研究科科长、経済学部長の二神孝一先生に御出席頂き「総長の交替」、「世界レベルの大学を目指して」のお話をされたあと、「日本を取り巻く経済の動向」についてパソコンを用いて講演されました。(写真)

年2回、春秋のゴルフ同好会も開催致しました。何れの行事も参加者が伸び悩みです。

本年も同様の行事を実施致しますので、東海地方同窓生のご参加をお待ちしております。

### 囲碁同好会へのお誘い

囲碁同好会は、毎月第2土曜日の午後1時ころから午後5時ころまで、西天満の青雲会交流センターで例会を持っています。初段を120点とし、上下にそれぞれ50点くらい幅のある人がハンディをつけて対等に楽しんでいます。夏には年1回の大会、秋には現役囲碁部員との交流戦、正月には全阪大囲碁大会への参加とイベントも組んでおります。参加を歓迎いたします。



お問い合わせは TEL : 06-6339-7747

幹事 山口 勝之(13期)まで メール : esakalawoffice@gmail.com

### 「白球を追って」青雲会 ゴルフコンペ

「青雲会」ゴルフコンペ 年2回開催(5月・11月)ぜひご参加を(詳細は事務局へ)

20年・30年ぶりに懐かしい同窓のメンバーが顔を合わせ、冗談を交わしながら、お互いの健康を喜ぶ会です。

新しいメンバーの多数のご参加をお願いします。

参加ご希望の方は、

「青雲会」事務局  
(06-6850-5198)

までご一報ください。





## 第13期 青雲会奨学生(法学部留学生) 座談会

平成24年度の青雲会奨学生は、中国出身の宋 雨翌さんです。  
三木会長からお話を伺います。(里内副会長同席)

**三木** 阪大法学部の同窓会である青雲会は、海外からの留学生を少しでも支援しようと、13年前から奨学金支給制度を実施しています。今年は中国出身の宋 雨翌さんです。中国のどちらの出身ですか。

**宋** 四川省の成都市です。四川料理やパンダで有名です。

**三木** そこでの生活、ご家族の状況等をお話ください。

**宋** 私は3歳の時に父を亡くし、小学生の時に母が大阪大学に留学してそのまま大阪で仕事に就きましたので、主に祖母に育てられました。

**三木** 大阪大学法学部に進学したきっかけはなんですか。

**宋** 祖母が裁判官で、小さい頃から裁判の話をしてもらっていたので、歴史・法律の分野に興味がありました。また、中国に留まって勉強を続けるよりも広い世界に出て国際性を磨きたいと思いましたので、留学を希望し、大阪大学を選びました。今は、母と箕面市で生活しています。

**三木** 今1回生ということですが、大学ではどのようなことを学んでいますか。

**宋** オーストラリア法入門の講義では、オーストラリアに短期留学して英語で授業を受け、クリティカルシンキングの技法を学びました。また、今は東アジアや戦後の日本政治に関する講義を選択しており、中国の将来を考える上でも大変興味深く受講しています。

**三木** 将来はどんな仕事に就きたいと思っていますか。

**宋** 裁判官であった祖母の影響もあり国際弁護士になりたいと考えていましたが、政治学を学んでジャーナリストになりたいとも考えるようになってきました。引き続き大学で見聞を広げ、進路についてよく考えたいと思います。



**三木** 大学ではその他どのような活動をされていますか。

**宋** ESSサークルに所属して死刑制度等公的な主題について異なる立場に分かれて英語で議論をするという活動をしています。毎月のように他校生とディベートをする機会があります。また医学部や人間科学部在籍の友人らと、時事問題に関して自主的に議論する機会を持つようにしています。他学部の方々と議論することは、異なった視点で問題を捉える契機となり、大変おもしろいです。このような機会は今後SNS等も活用して、学部、大学を超えてどんどん広げていきたいです。そして私は2008年に起きた四川大震災を経験しました。その時、日本の皆さんにたくさん支援していただきましたので、今度は私が東日本大震災の復興支援をしたいと思い、平成25年3月に仙台を訪れ、現地で支援活動を行う予定です。

**三木** 日本での生活はいかがですか。

**宋** 小さい頃から母を訪ねて大阪には何度か来ていましたので、和食は大好きで、家でも母とよく和食メニューを作ります。また、日本の大学に留学希望をもって来日している後輩に対して、入試対策の英語を教えるアルバイトをしています。

**三木** 本日はお忙しいところに来ていただいて、ありがとうございます。青雲会としては、今後とも勉強させて活躍されることを願っています。今年の総会は7月13日(土)に開催しますので、ぜひご出席ください。

**宋** はい、出席させていただきます。

(2月5日記)

## 青雲塾で未知の体験!

青雲塾担当 松井 繁幸(23期)

青雲会会員の他、会員の紹介のあった人もご参加大歓迎です。講師の自薦・他薦、企画の持ち込みも。事務局から案内をお送りしますので、是非、ご連絡ください。次回案内(今年生誕百年の織田作之助を予定)は、ホームページをご覧ください。過去の実績も掲載しています。

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/>



▲ 聖徳太子が伎楽の舞を少年たちに伝習させた「土舞台」で解説する森内講師(中央)

なお、昨年度の開催内容は次のとおりです。

### 2012年

6月21日(木) 「日本の酒詩歌 ~短歌・俳句・川柳を中心に~」

岩佐 善哉 氏(酒詩歌研究家)

★高村光太郎・草野心平などにゆかりの酒を持ち込んでの試し酒も楽しい万葉集から現在に至る詩歌の紹介

8月31日(金) 「ワインを楽しむ その2 ~フランスとイタリア~」

野口 博也 氏(阪大人間科学部卒 シニアワインアドバイザー-日本ソムリエ協会認定)

★フランスワイン5種にイタリアワイン4種、貴腐ワインにサントリーの高級ウイスキーまで、深みのある解説で改めて感心。

11月18日(日) 「万葉を歩く 第3回~磐余(いわれ)道を歩く・大津皇子を偲んで~」

森内 賢一 氏(18期)

★〈佐保路篇〉〈西ノ京篇〉に続いて3回目の出馬となる森内講師。今回は初めて紅葉の美しい秋。

### 2013年

3月23日(土) 「知られざる適塾出身者に迫る

—西洋科学技術の先駆者・武田斐三郎と幕末維新—

醍醐 龍馬 氏(大阪大学大学院法学研究科/60期)

★青雲会懸賞論文連続1席獲得の醍醐講師。

五稜郭の設計者、武田がわかりやすく紹介され、大阪大学の源流、適塾の精神が身近に。

## 活躍する卒業生 I



僕はある女性に愛されてしまいました。その女性とは肺がんのことです。彼女の名は、「幸運」と言います。彼女は私の体の中を自由に入ります。ほとんどいつも一緒ですが、時々、僕から離れて遊びに出かけます。

毎日はこのように始まります。僕がたとえ何もしたくない時にも、彼女は、毎朝5時半になると私を起こし、一緒に体操し、一杯の水がほしいという。その時、少し塩を入れてとねだる。僕は「はい、はい。」とって彼女の言うとおりにさせられます。その後、彼女は、一緒に朝風呂に入ろうという。僕が、「恥ずかしいよ、女の人と一緒に入るのは! 裸だけは見せてはだめよと奥さんに言われるんだ!」と言うと、彼女は「そうね、でも一緒にはいろう!」と言って強引に風呂に入ってきます。実は、僕は、彼女は熱い湯が苦手なのを知っています。そのあと僕は温熱マットに寝転がる。彼女も僕のそばに寄りそってくる。僕も彼女もこれが大好きで、いつの間にか気持ちが悪くなって寝てしまいます。でも彼女は長い時間は苦手らしくいつの間にか私の体から出て遊びに出かけます。

彼女はまた僕を外に誘い出します。「今日は孔子学院の勉強ね、一緒に行くわ。」彼女はそう言って、僕が今日は疲れているからと言っても、強引に僕を誘います。一緒に電車に乗って学校近くなると、なんと不思議、僕は疲れがなくなるんです。彼女は、「今日は宿題をやったからよかったね。さすがね!」と褒めてくれたのです。僕は、思わず、嬉しくなって彼女に「ありがとう!」と言ってしまいました。彼女は半分嬉しそうに半分淋しそうに、「私、勉強は嫌いだから、そこら辺、ぶらぶらしとくわ!」と言って、僕からそっと離れて行きました。私はそんな飾らない彼女が少しずつ好きになりました。

でも、最初私は、彼女と友達ではありませんでした。憎むべき敵であると思っていました。だって、彼女は、私の知らぬ間にウインクひとつせず、勝手に私の所に忍びよって来て、僕の邪魔をし出したのです。

## 「僕は一人の女性に愛されてしまった!」

公認会計士  
徳田 汎司 (9期)

まず、中国語の勉強を邪魔し、孔子学院を欠席させました。更に上海外国語大学の夏期研修を行かせないようにしたのです。いつも楽しんでたゴルフに行くことも、さらに毎夏楽しみのヨットに乗ることも、ひどいことに遊び仲間の友達に会うことさえ邪魔したのです。

しかし、遊び友達は入院中の私に会いに来てくれました。これで、彼女はだんだんと私のことを理解しました。私もだんだんと彼女のことを理解しました。病院の先生は、「彼女はいい友達になってくれますよ! 彼女と一緒に上海に行っておいで!」と言って、孔子学院あてに手紙(健康診断書)を書いてくれました。実は、この手紙は、74歳の僕が研修参加の年齢制限をはるか超える老人であるので、孔子学院が僕に要求した条件だったのです。呂林先生はじっとその手紙を見ていましたが、やっと上海行きを認めてくれました。彼女は、呂林先生が、僕たちの上海研修参加を承認してくれたことを大変喜びました。3週間ですから、呂林先生も本当は心配したことでしょう。ほかの先生方も心配してくれました。その時、僕は彼女と友達になろう、きっと、なれると思いました。こんなわけで、今は、彼女と友達なる機会を与えてくれた孔子学院にも感謝の気持ちが湧いてきました。

彼女も僕を本当の友達と思うようになりました。僕が何か夢中になっているときは、僕を邪魔しないでそっと外に遊びに行くようになりました。

最近僕は、そんな彼女をいとおしく思うことがあります。





## 「未来への改革、 25歳の挑戦!」

箕面市議会議員  
原田 亮 (60期)



私は昨年8月に、大阪大学豊中キャンパスがある隣の市、箕面市で市議会議員選挙に出馬しました。地盤も知名度もお金もなく大変苦しい戦いでしたが、青雲会の皆さんを始めとするたくさんの方々から応援頂き、なんとか全国最年少の25歳として当選を果たすことができました。

私がなぜ政治の道を志したかという、テレビから流れる政治家の汚いイメージやバッシングの影響で、現在の政治家に対する不満が蓄積され、「俺が日本を良くしてやる、変えてやる!」と中学2年生のときに正義感から思い、その頃から政治家を志しました。

そして、阪大に入学し、政治を学びながら、政治家になるのに何をすべきか学ぶために衆議院議員の事務所でインターンを経験し、その想いが強くなりました。

人生の使命を感じたのが、東日本大震災発災後、現地でボランティアをしたときでした。「子どもは希望がなくなった。その結果、子どもに笑顔がなくなり、大人に元気がなくなり、社会が暗くなった。どうか子どもたちを笑顔にして欲しい」と、被災された方から頼まれた言葉に、胸を打たれ、自らの政治生命において成すべきことが定まりました。

現在の日本は、今さえ良ければそれで良いという将来世代にツケを先送りするバラマキが横行し、少子高齢化が進展して、将来に希望が持てない社会です。実際に私たち若者は夢を抱けず、8割もの若者が将来に不安を抱えています。こうした状況のもと、若者の自殺傾向が強まり、「失業」や「生活苦」を理由にした自殺者も急増、20代の自殺率は過去最悪を更新しました。全体で見ると、自殺者は14年連続で3万人を超えま

す。さらに、日本の人口は100年後に半減すると言われており、このままでは、将来の子どもたちだけでなく、先人から受け継いできた素晴らしい日本も沈没してしまいます。

こんな社会を将来の子どもたちに残していいのか。子どもたちが将来に夢や希望を持てる社会、「あの世代のおかげで素晴らしい今がある。」と言われるような社会を作ることが、今を生きるものの責任ではないのか。その思いで現在活動しています。

具体的には、現在、箕面市において、将来に投資して発展させていくまちづくりをするよう、新たな発想を取り入れ市政を改革しています。

また、大阪大学の学生たちをはじめとする若年層の啓発と育成に取り組んでおり、現在の日本の危機を伝え、彼らの意識を喚起して、あらゆる分野で行動に移してもらうよう目指しています。

さらに、活動のフィールドは箕面市だけではなく、自民党大阪府連青年局次長として、大阪府全域の議員とも連携して、大阪府を良くする活動にも取り組んでいます。

加えて、被災地支援活動も続けており、先日も岩手県陸前高田市にてボランティアを行って来ました。そして、自民党本部にて様々な国会議員と面会し、色々な要望を行うなど、日本を良くしていく活動も行なっています。

私の挑戦は始まったばかり。まだまだ若輩者でありますので、今後とも先輩方のご指導ご鞭撻頂ければ幸いに思います。感謝

平成25年度

# 青雲会総会のご案内

講演会のテーマ

『いのちと医学』

日時

平成25年7月13日(土) 午前10:30開会  
 10:30-12:10 総会 講演(2F 講堂)  
 12:10-14:00 懇親パーティー(1F アセンブリーホール)

会費

**6,000円** (卒業後5年以内 2,000円)  
 学生 1,000円)

ご出席の方は、会費の前納をもって申込みとさせていただきます。  
 同封の払込み用紙をご利用ください。払込み期限 6月28日(金) [必着]

場所

大阪大学会館  
 (旧イ号館)

大阪府豊中市待兼山1-13  
 大阪大学豊中キャンパス



講師 **平野 俊夫氏**  
 (大阪大学総長)

[略歴]  
 昭和22年生  
 昭和47年 大阪大学医学部卒業  
 昭和48年より昭和51年まで  
 アメリカ国立衛生研究所留学  
 大阪府立羽曳野病院内科を経て、  
 熊本大学助教授、  
 大阪大学助教授、同教授、  
 生命機能研究科長を歴任  
 平成20年4月から23年3月まで  
 同大学院医学系研究科長・医学部長  
 平成23年8月 大阪大学総長に就任

## 青雲会 役員名簿

任期25年4月1日~27年3月31日

役職	氏名	期	担当
名誉会長	竹中 浩		
会長	野村 史郎	27期	周年事業
幹事長	三輪 省三	旧制1期	
副会長	山本 茂伸	22期	総務*総会(副)
副会長	松井 繁幸	23期	青雲塾*総務(副)
副会長	片岡 和行	24期	総務*就職支援(副)
副会長	松本 克己	26期	総会*就職支援(副)
副会長	西井 秀行	36期	就職支援*総会(副)
副会長	松本 綾	40期	留学生*若手・女性活性化(副)
副会長	嶋津 裕介	45期	若手・女性活性化
副会長	堀木 由紀	46期	会報*懸賞論文(副)
事務局	黒田 嘉次郎	18期	
懸賞論文審査	西畑 一哉	27期	懸賞論文
懸賞論文審査	川上 良	39期	懸賞論文

## 平成24年度決算報告と平成25年度予算 概要

(単位:千円)

収入の部			支出の部		
項目	平成24年度 決算	平成25年度 予算	項目	平成24年度 決算	平成25年度 予算
会費収入	6,272	6,769	総会費	511	500
懇親会収入	511	540	会報費	2,109	2,100
その他収入	314	171	留学生奨学金	600	480
			ローヤリング	500	300
			司法基金援助	500	300
			名簿・HP管理費	378	380
			懸賞論文	267	270
			支部助成金	420	520
			一般助成金	363	240
			人件費	973	1,000
収入計	7,097	7,480	その他経費	1,122	1,390
			支出計	7,743	7,480
収支差額				△647	0
前期繰越金				5,040	4,393
次期繰越金				4,393	4,393

※本案は総会でご審議いただきます。

## 青雲会事務局からのお知らせとお願い

### ●宛名印刷をご利用ください。

パソコンのシステム近代化に伴い、宛名印刷が出来るようになりました。皆様の同窓会開催案内等にご利用ください。(費用:無料)

事務局は、大阪大学豊中キャンパス(石橋)、大学院法学研究科棟2階にあります。午前9時30分~午後3時30分(11時30分~12時30分昼休み)に在室しています。会員の皆様のご連絡をお待ちしております。

TEL.06-6850-5198

青雲会事務局 黒田嘉次郎(18期)